

患者ID:@PATIENTID

2015.6.3作成

@PATIENTNAME 様

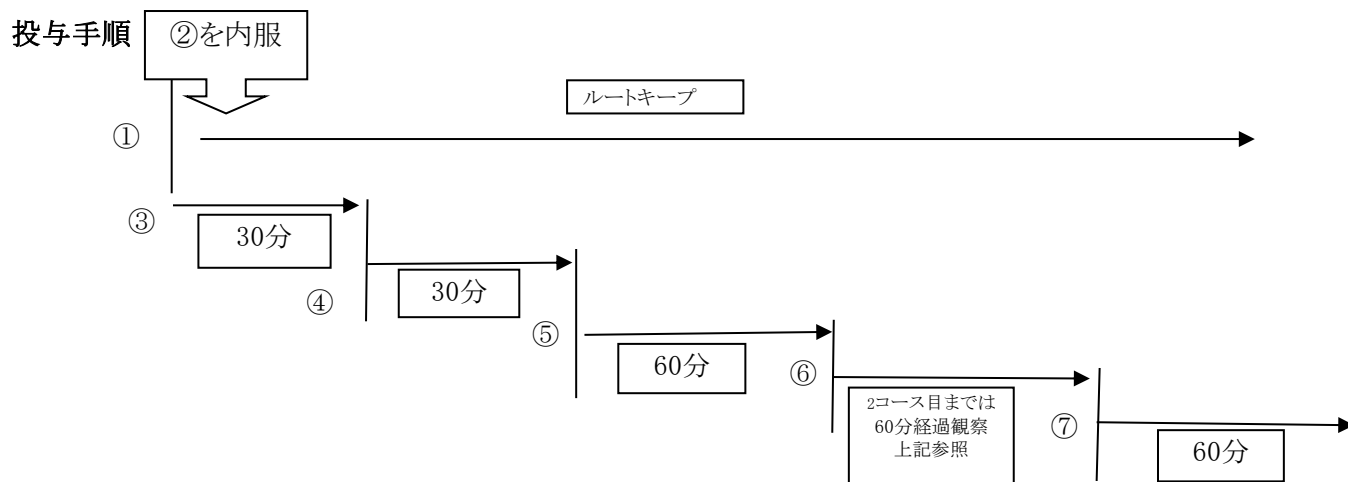
胃化療(パクリタキセル+サイラムザ)

2018.2.14改訂

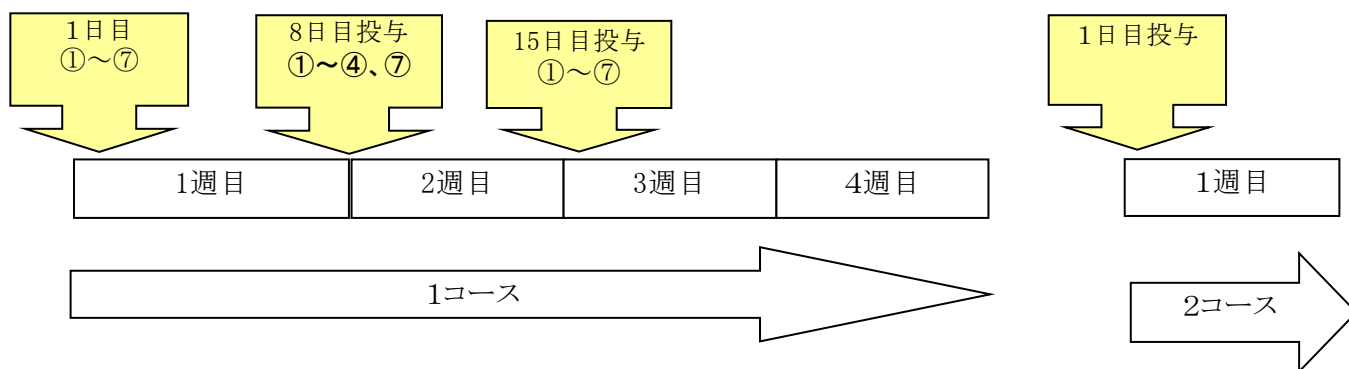
指示者	@USERNAME	身長	HEIGHT01_Dc	cm			
コース数		体重	HEIGHT01_D	kg			
		体表面積	#VALUE!	m2	(DuBoisの式)		

				実施印		
				day1	day8	day15

	薬物/実際の投与量	投与時間	投与経路	day1	day8	day15
①	生理食塩水500mL	ルートキープ	点滴			
②	レスタミンコーワ5錠		内服			
③	グラニセトロン3mg 1バッグ デカドロン3.3mg 3A	30分	点滴			
④	生理食塩水100mL ファモチジン注 1A	30分	点滴			
⑤	生理食塩水250mL サイラムザ 8mg/kg ()mg/body 最小単位10mg #VALUE! 計算値	60分	点滴	フィルター使用		フィルター使用
⑥	経過観察 最初の2コースは必須 3コース目からは省略可能	60分				
⑦	5%糖液250mL パクリタキセル 80mg/m2 ()mg/body 最小単位10mg #VALUE! 計算値	60分	点滴	フィルター使用	フィルター使用	フィルター使用



スケジュール



注意

Infusion Reactionに注意

消化管穿孔、血栓塞栓症、創傷治癒遅延の副作用あり。

高血圧、蛋白尿に注意

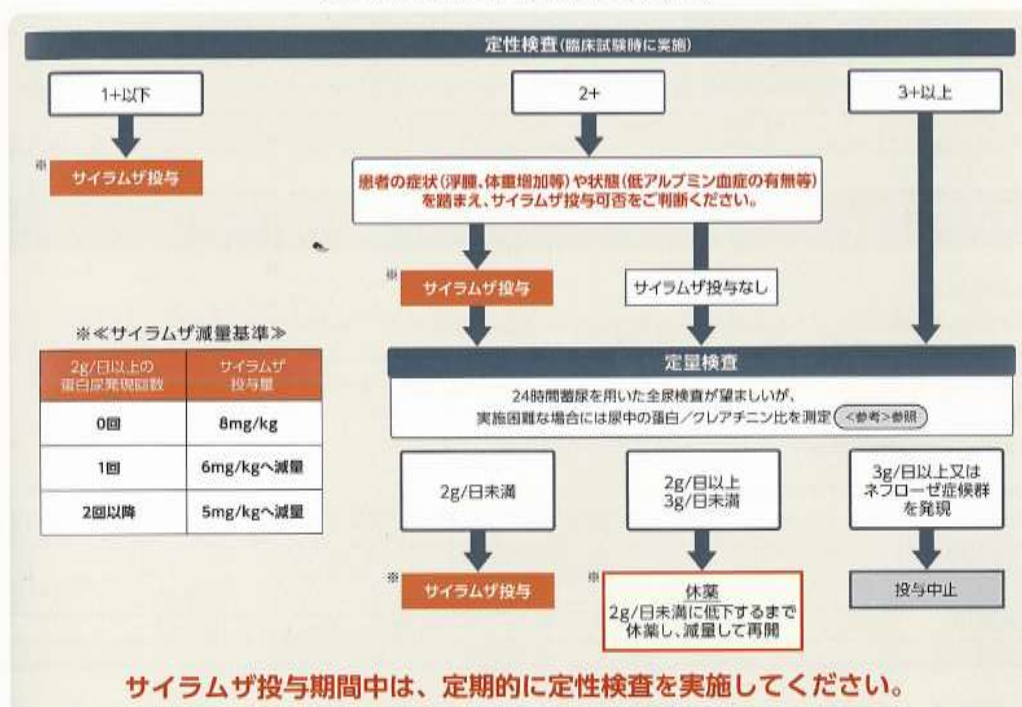
治療成績

RAINBOW試験(2次治療)

OS PTX vs PTX+Ram 7.4ヶ月 vs 9.6ヶ月

PFS PTX vs PTX+Ram 2.9ヶ月 vs 4.4ヶ月

〔尿蛋白検査及び蛋白尿発現時の対処方法〕



〔参考〕尿中の蛋白/クレアチニン比¹²⁾

随時尿の「尿蛋白/クレアチニン比」は、以下により求めることができます。

尿蛋白/クレアチニン比 = 随時尿の尿蛋白定量結果 (mg/dL) / 尿中クレアチニン濃度 (mg/dL)

「尿蛋白/クレアチニン比」のポイント

1日尿蛋白排泄量 (g/日) とほぼ等しい、もしくはよく相関することが知られています。

尿蛋白/クレアチニン比が 0.3 ~ 0.5 の場合、尿蛋白排泄量は 0.3 ~ 0.5g/日程度と推定できます。

● Infusion reaction 発現時の対処方法

サイラムザ投与により infusion reaction があらわれた場合には、副作用の症状、程度に応じて以下の対処方法を考慮してください。

(Infusion reaction 発現時のサイラムザの対処方法)

